

2023年11月10日

## 2024年3月期 第2四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の2024年3月期第2四半期連結決算は、売上高175,582百万円、経常利益8,558百万円となりました。2024年3月期連結業績予想については、売上高340,000百万円、経常利益12,000百万円を見込んでおります。

### 【2024年3月期第2四半期連結決算】

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行動制限が緩和され、インバウンド需要も回復基調となり、経済活動および社会活動の正常化が徐々に進みました。

一方で、緊迫した世界情勢に加え、為替相場の変動リスク等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向けた3rd Stage「中期経営計画23-25」を本年4月にスタートし、基本コンセプト『SHOWAの“SHIN-KA”宣言～90年、そしてその先へ～』を掲げ、新たな財務指標とともに5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間では、「①基盤事業の強化」において、食品事業における製油・糖質カテゴリのより一層の製品供給の安定化、コスト低減、付加価値向上に向けて国内での事業の展開を加速させるため、辻製油株式会社と本年5月に資本業務提携を行いました。

また、創立以来初となる抜本的な営業組織改編を実施し、これまで「プロダクトアウト型」であった当社の組織を業態別・顧客別の「ワンストップ型」に変革し、お客様のニーズに合致する最適なソリューションを迅速に提供する「マーケットイン型」の体制に改編しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は175,582百万円と前年同期に比べ12,172百万円（7.4%）の増収となりました。営業利益は7,352百万円と前年同期に比べ5,034百万円（217.2%）の増益、経常利益は8,558百万円と前年同期に比べ5,246百万円（158.4%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,730百万円と前年同期に比べ3,782百万円（194.2%）の増益となりました。

### 【2024年3月期連結業績予想】

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間（4～9月）の業績の動向等を踏まえ、2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を修正しております。

現時点において入手可能な情報及び予測等に基づいて2024年3月期通期連結業績予想を算定いたしましたので、詳細につきましては、本日（2023年11月10日）公表いたしました「通期業績予想（連結・個別）の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>  
昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室  
TEL：03-3257-2042 担当：赤松、塩谷